



暑い季節の熱い戦い、 全国金魚すくい大会終わる

今年も大会の近江八幡予選会として、秀次公命日に合わせて八幡堀沿いで開催しました。会場が大きさを駐車場などの問題もありますが、会場の雰囲気もよく、大会としても定着しつつあるので、今回はあまりアピール出来ませんでした。今後は、なぜ秀次倶楽部がこの大会を開催しているのかをアピールしていく上でも、秀次公命日に合わせて、堀沿いでの大会を定着させていきたいと思っています。

当日は大人48名、子ども36名の参加選手も真剣な目つきで水槽の中の金魚と格闘、熱戦が繰り広げられました。それぞれ上位2名は、8月21日に大和郡山市で開催された全国大会に出場、近江八幡の代表としてがんばって頂きました。会員の皆さんには数々の賞品をご提供下さり、また当日のスタッフとしてもご協力頂きまして、ほんとうにありがとうございました。

今年の葦うどん店頭へ、 金魚すくいは大盛況

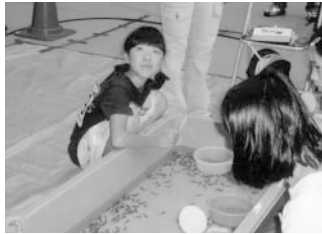
8月7日に開催された八幡てんびんまつりの催しでチャリテイ市場に出店し、金魚すくいのほか今年出来上がったばかりの葦うどんやガラス製品などを販売しました。金魚すくいでは行列が出来るほどの盛況ぶり、まつりに少しでも花がそえられました。葦うどんについては、今回は準備出来ませんでした。試食のコーナーを設けてもっとPRすると良かったと思います。

葦うどん事業の報告

今年には会員の皆さんによる出資というかたちでの協力のもと事業を進めました。少し取り掛かるのが遅れたのと、途中トラブルもあって遅くなりましたが、昨年を大幅に上回る量の葦うどんが出来上がりました。もうすでに皆さんにはご賞味頂けたとは思いますが、いかがでしたでしょうか。250グラム入りのものを定価400円で販売していきます。現在1500袋出来上がっています。本年度の手持ち、来年の葦刈りまでご希望の方は事務局までお申し込みください。尚11月20日市役所での農業祭にて発売致します。今後共宜しくご協力ください。(裏面参照)

勉強会を開催

去る9月23日市立図書館にて勉強会を開催しました。近江八幡市文化振興課の奈良俊哉さんに「八幡山城」と題して、主に秀次館跡周辺のこれまでの発掘調査経過報告と今後の調査の方向性や八幡山城の国史跡指定



森本美波さん
奥田涼太さん

去る8月21日、大和郡山市で開催されました、「全国金魚すくい選手権」。近江八幡大会で出場権を手にした森本美波さんと奥田涼太さんが当日のお写真を秀次クラブまで送って下さいました。



奈良俊哉さん
(近江八幡市教育委員会)



に向けての全体の調査、八幡堀や城下の調査の必要性などについてご講演頂きました。新たな発見の部分など細かな専門的なお話から八幡山城全体とその城下にいたるまでを大きく捉えたお話まで大変わかりやすく興味を持てる内容で、約40名の参加者もメモを取るなどして熱心に聴いて頂きました。今後このような勉強会的な事業を定期的に開催して、八幡山城跡地のあり方などについても秀次倶楽部として提言、提案出来ればと思います。



原風景 小井手 美香

自分の内にある心と向かい合うよりも、最短距離をフルスピードで突っ走る、そんな時代の流れとともに年令を重ねてきて、せかせかしているわりにはのんびりしている私は、ちっとも優等生ではないのだけれど、訪れる街の風景にそれぞれの地域に住む方々の何を大切にしているかを感じることが出来ます。言葉で説明するよりも風景が直接語りかけてくれます。大切だと思うことは、英語の文法で習った「現在完了形」の感覚を持ち続けていきたいです。近江とは離れたところに住んでいますが、近江人の心意気を私の心の中のお手本にして持っていたいと思います。そして、秀次さんはいつまでも私の心の中にさわやかな好青年として生き続けていきます。

金魚すくい・葦うどん等、機会があれば地域の方々と触れ合いながらいろいろ近江八幡のことを教えていただいて、母との話しのネタを作っていきたいです。

皆様からのおたよりをお待ちしております。
事務局宛に郵送、FAX、Eメールにて。